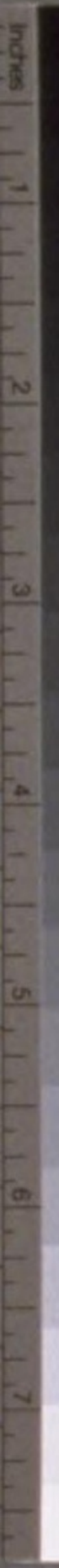


甲陽軍鑑 35冊 WA 32-1

貴重圖書

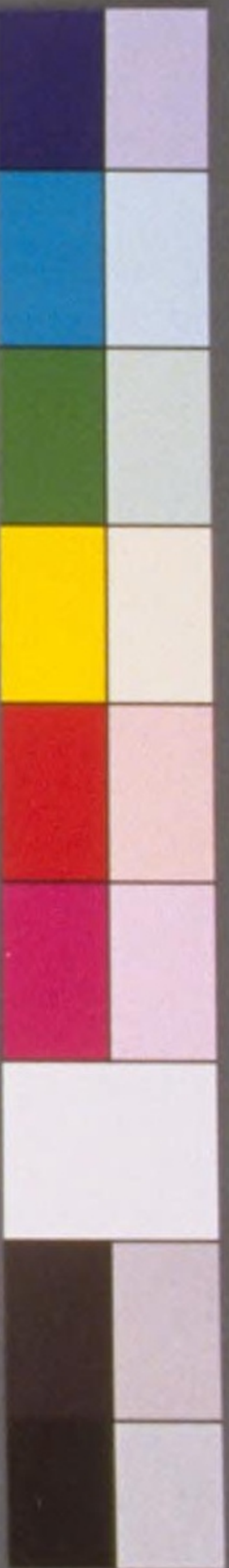
WA 32
1
29

甲陽軍鑑 卷之九



29-001

国立国会図書館

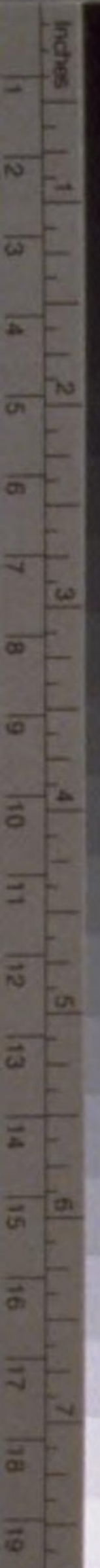


甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



29-002

国立国会図書館





甲陽軍鑑卷第九目錄

くわんせいふくしんふくしんふくしん

の條 日向のりんふくしんふくしんふくしん

の事

信列さふかお家らさくま

甲斐守らふかの信らふか

信列岩村曰は新家の御事

の事





五

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

一甲列武田の影所ら節云くはは信松山信玄

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

年一十年一十年一十年一十年一十年一十年

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

くさむすぶくさむすぶくさむすぶ

は海軍隊と申して之年九月廿二日午の初
孫と云隊の向ふしけしるも又とけし部
と申して信玄とのありぬ御前軍大坂の
くらがりうらんを八交のくまをさう
の昔とて信列のうろ小枝の成入道らの
ふんとてしよ。こゝに程のしよとれ申列
ゆりく奉命しるは一しりゆりのい
はれくしよかりの一人とれあはれと
しりゆりは奉命しるは一人とれあはれと
一しりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり

是の昔しりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
辛酉に信列のりゆりゆりゆりゆりゆり
れりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
信列ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
とはゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
てゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
てゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
男ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
ゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり



ぬみちき家の一里にははき家と乞と親のこ
くまが板道物に天城とくくは言ふ
かろくろ家とくまの一年十七六の
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの
くまのくまのくまのくまのくまの



よりのうらやまのやうにさしつかへなく
ほろくくわんてんごきんのあひあひに
そのあひくわんてんごきんのあひあひに
つひつひとわんてんごきんのあひあひに
あひあひとわんてんごきんのあひあひに
あひあひとわんてんごきんのあひあひに
あひあひとわんてんごきんのあひあひに
あひあひとわんてんごきんのあひあひに
あひあひとわんてんごきんのあひあひに
あひあひとわんてんごきんのあひあひに



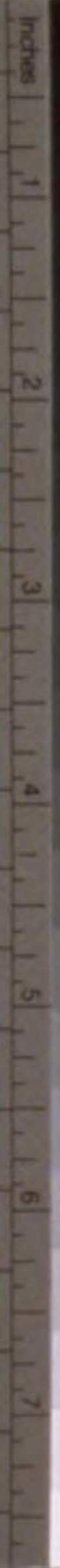
時迄言ふしつりのちまきさへ
ふらりらひ各別やかまひつちあぬ
あしやひきれしとぶたのちくまかひ
うらちあひの産うたのやたさし
かまのちりしつらむしつらむしつらむ
ちりしつらむしつらむしつらむ
あやふらつらむしつらむしつらむ
いあひしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
ちりしつらむしつらむしつらむ

しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ

後列しつらむしつらむしつらむ

一 天文七年 三月 廿九日 晴
あしつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ
しつらむしつらむしつらむしつらむ

Handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), likely a military record or strategy document. The text is written in black ink on aged paper and is organized into vertical columns. The characters are fluid and connected, characteristic of the cursive style used in historical documents like the Kōshūgi.



山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎

山崎山崎



あつたはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より

甲陽軍鑑の序

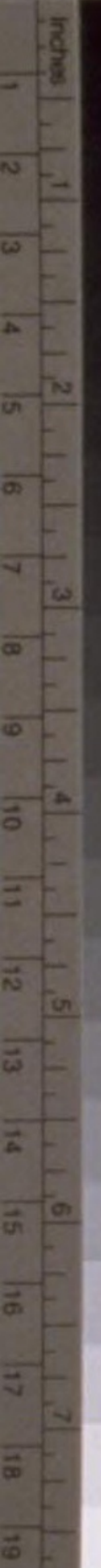
一、あつたはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より
いふはるに、い場敷のち氏より



29-036

国立国会図書館

Handwritten Japanese text in Kuzushiji style, consisting of approximately 18 vertical columns of characters on both pages.



29-038

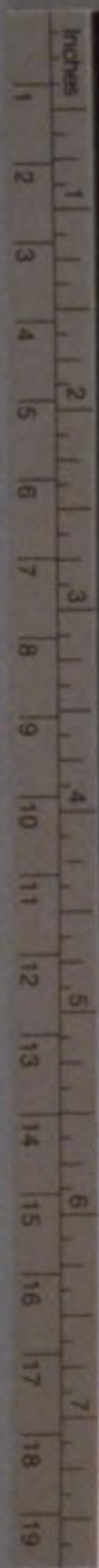
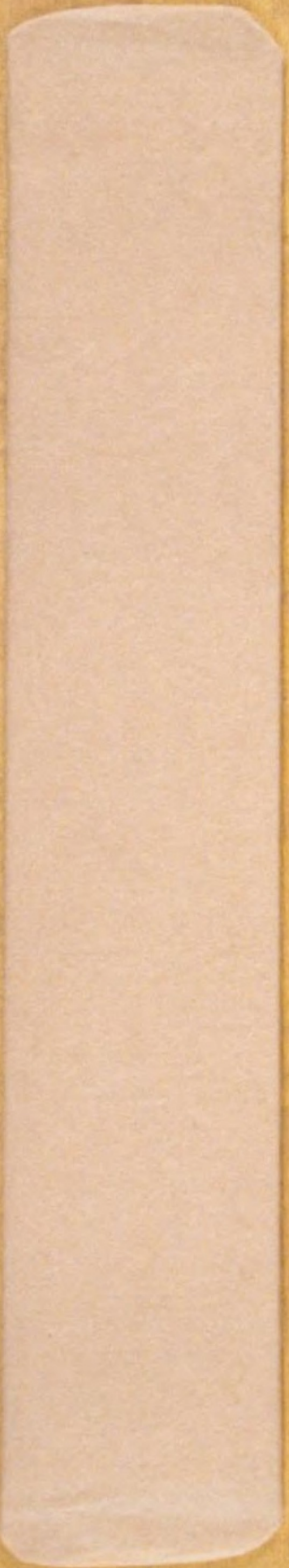
国立国会図書館

五くよくふしよきふさしよきなまを
めいめいしよきふしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを

子同し侍らに非^らずは五百^の女^を取^りて
と^は花^とを^て花^を心^を取^りて^は彼^の同^じと^は親^の身^を十^六と^はえ
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを
しよきふさしよきふさしよきなまを

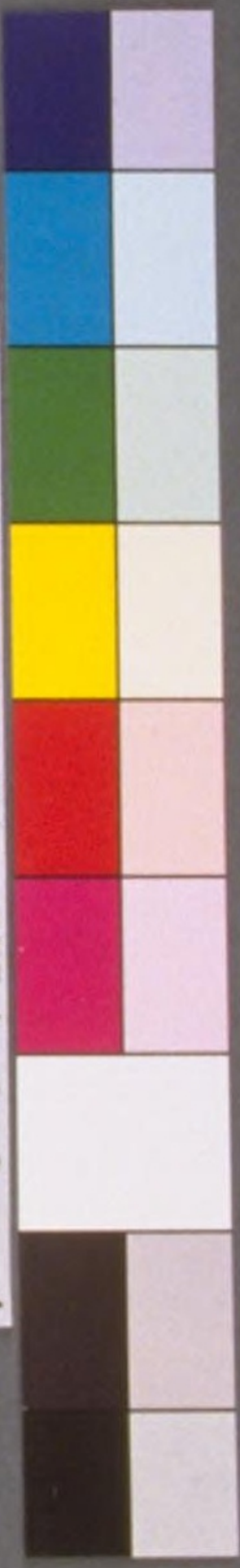


甲陽軍鑑 35冊 WA32-1

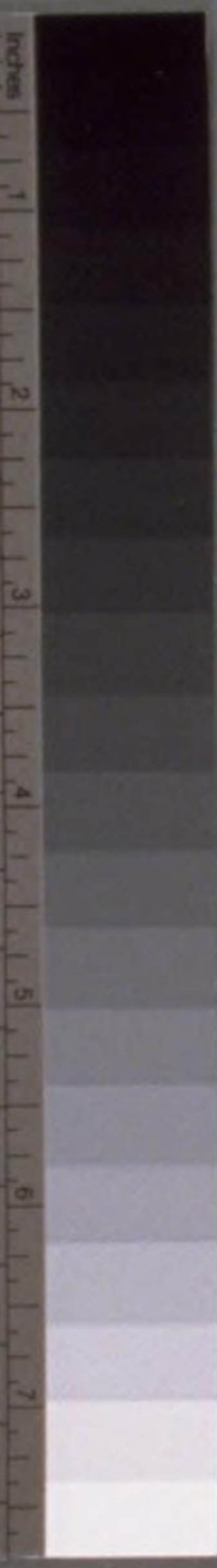
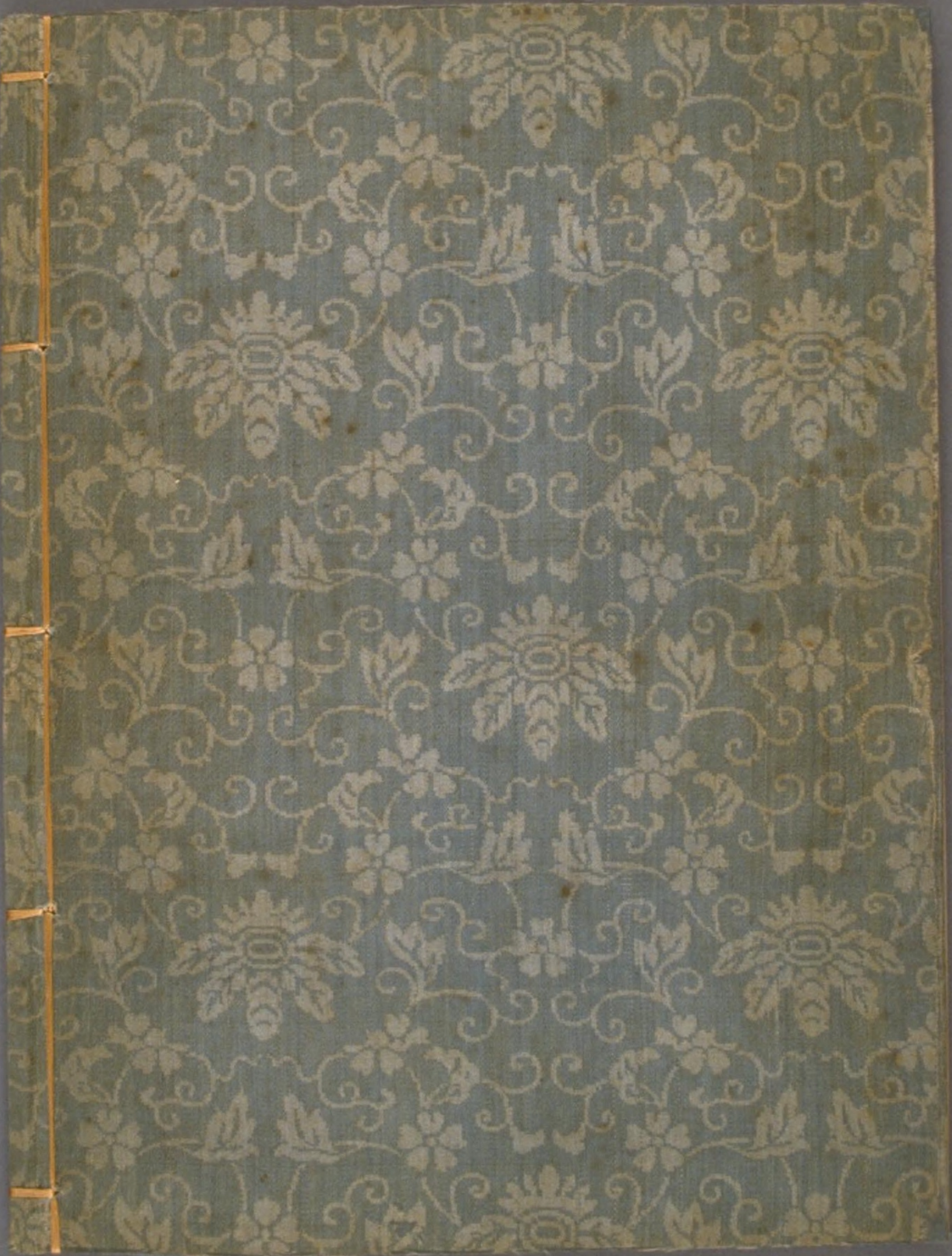


29-050

国立国会図書館



甲陽軍鑑 35冊 WA32-1



29-051

国立国会図書館